

## 神奈川県作業療法士会平成17年度第4回理事会議事録

日 時：平成17年9月13日 18:45～20:30	場 所：神奈川県作業療法士会事務所									
出席者：長谷川会長 清水 鶴見 錠内 浅井 浅海 亀ヶ谷 作田 鈴木 長谷 松本 松藤 田中(節) 田中(秀) 理事外：奥原 池田 沢口 岩野 山田 野本 鳥畑										
議 題	内 容									
1. 会長挨拶 2. 県学会学会長推薦	事業を見直す時期である。 岡村宮子氏(川崎市リハビリテーション医療センター)内諾 会長：いろいろな方に学会長を受けてもらい学会を広めて行きたい。 承認 錠内：委任状を発行する。川崎市内での開催も検討されるであろう。									
3. 平成17年度中期、長期計画策定について三役会(案)	別紙資料あり。 詳しい内容は次回理事会へ。 中期は2年間の計画とし、理事の任期と一年かぶせる。 錠内：浅井理事不在のため、概要のみ説明する。 会長：法人化にも大切な内容になるため内容・表現など確認をしてほしい。各部ごとにH18年度は、中・長期目標に基づいて計画を立てることになる。県士会の顔になるため、しっかり目を通してほしい									
4. 各部報告 ウェブサイト管理委員会(作田)  広報部(松本)	1. 「県士会への投書箱」設置の件。 「こっそりひと言」を変更して、2005年8月28日に設置。投稿内容の選択の内容・表現方法は追加・変更可能。現在のところ投書なし。 2. 継続事項 各部・各委員会便りの県士会サイトへの掲載。 早急に対応。 1. ニュース印刷部数、折り込みチラシ枚数について。 ニュース送付数、印刷部数 115号：会員949人 448施設 関連団体宛69部送付 印刷1100部 チラシの印刷回数について 会員：1000枚 施設・自宅：500枚 印刷したチラシは、作業の簡略化のため50枚ごとにまとめて部長あてに送付。 2. 平成17年度のニュース発行予定 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>発行予定</span> <span>チラシ締め切り</span> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">115年</td> <td style="width: 40%;">編集終了し、現在印刷中。同封チラシ2枚</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>116号</td> <td>11月下旬</td> <td>11月10日</td> </tr> <tr> <td>117号</td> <td>平成18年1月下旬</td> <td>1月10日</td> </tr> </table>	115年	編集終了し、現在印刷中。同封チラシ2枚		116号	11月下旬	11月10日	117号	平成18年1月下旬	1月10日
115年	編集終了し、現在印刷中。同封チラシ2枚									
116号	11月下旬	11月10日								
117号	平成18年1月下旬	1月10日								

<p>情報統計部 (松藤)</p>	<p>118号 平成18年3月下旬 3月10日</p> <p>3. 新人部員 横浜旭中央総合病院 佐藤志保子(池田班) 承認</p> <p>会員未払い者について 現在は昨年度の状況に発送している。</p> <p>1. 協会名簿とのすりあわせ作業報告(H17年8月現在)、 県士会未加会者数:185名 内訳 未加入:150名、会費未納:35名 未加入者について。 対策を三役会で検討するためリストを提出する。 協会員(神奈川県):1087名(H17年6月) 県士会員 :942名(H17年8月)</p> <p>2. 平成17年度実態調査について。 調査項目:別紙資料参照。追加項目があれば連絡をする。 Web登録に出来ないか。 作田:検討していく 錠内:事務局設立したので協会のモデル事業に募集していく。 調査項目について。 錠内:訪問リハ関係者の記入方法。検討していく。 調査方法:昨年は施設毎に発送したが個人情報保護法をふまえての対応はどうか? 錠内:県士会レベルならば施設毎で問題ない。</p>
<p>福祉用具対策 委員会(亀ヶ谷)</p>	<p>1. 平成17年度作業療法推進活動モデル事業について。 平成17年8月7日体験デーと共催。</p> <p>2. 研修会の進捗状況について ・作業療法士が知っておきたい住宅改修の基礎知識(仮題) 日時:H17年12月11日 ・高齢者の車椅子シーティング講習会(仮題) 日時:H18年1月14日・15日 会場を検討中。参加人数は40名前後を予定</p> <p>3. 「福祉用具・住宅改修にかかわるPT・OT人材養成等連絡会」について</p> <p>検討事項</p> <p>実施主体について 4施設(県PT士会 県OT士会 社協 県総合リハ)共同開催とすべきか 了解</p> <p>終了証の発行について 4施設共同開催の場合は、連名とすべきか 了解</p> <p>参加者情報の管理について 目的を明確にして管理する必要あり。 広報について 県士会ニュースに同封 Websiteに掲載等 了解 研修会運営への協力について 了解</p>

<p>地域リハビリテーション推進部（浅海）</p>	<p>プログラムの内容について（別紙） 了解          県士会員への講師依頼について 了解          生涯教育のポイントについて          2日以上のため4ポイント          1. 研修会報告          第四回 訪問作業療法研修会 9月11日 鶴巻温泉病院          参加者42名（県士会会員 32名 県外OT 10名）          2. 部員追加候補          鶴巻温泉病院 木村達氏 承認          3. 第一回地域リハビリテーション勉強会 計画          「脳卒中後遺症者の生活を学ぶ」          平成17年12月4日（日）10～15時          会場 れいんぼう川崎          4. PTOT 合同地域ケアネットワーク研修会          9月15日 第一回打ち合わせ予定</p>
<p>福利部（田中）</p>	<p>協議事項          ウェブサイト求人・求職情報をオープン形式にしたい。          理由：業務量が過重となってきた          錠内：会員に対してのサービスとして開始した。          しかし現在は情報量も増加している。          作田：Webでの対応化可能          田中：問い合わせにタイムリーに対応できない。          タイムリーに対応できなくて可          長谷：今後はますます増加する可能性がある。養成校で対応することか？求人は、県士会ニュースに掲載する場合は料金がかかるため、Web上も料金を徴収しても良いのではないか？          作田：情報の管理上難しい。情報掲載料は無料が多い。          清水：本来の目的からかすれている。          求人は、ニュース以外対応しないことも検討が必要。          田中：求人には施設名を掲載することは問題ないか          問題なし。当面はこの方法で進める。</p>
<p>広報部対外広報班（岩野）</p>	<p>1. 作業療法推進活動報告          作業療法体験デー 8月7日          スタッフ 実行委員 16名 当日委員 43名          参加者 一般71名 学生27名 その他不明19名          県士会員 9名          次年度の会場予約未：予約だけはしておいたほうがよい（錠内） ウィリング横浜を予約する。          施設見学会（8月22日～9月17日 中間報告          協力可能施設 39ヶ所（昨年48ヶ所）          詳細は次回の理事会で報告。          2. 第4回ヨコハマヒューマンテクノランド 参加報告</p>

<p>2005年7月28日～30日 パシフィコ横浜 来場者数 OTブース約150名</p> <p>3. パンフレット規定案 長谷：配布については予算を立てていないため、返信用封筒または着払い。 田中：OT協会は？ パンフレットは送料有料。 規定を再検討。配布先や一回の部数等。 当面、パンフレット自体は無料、送料は依頼先が負担</p> <p>4. 健康生活展 実行委員会：2005年7月6日 実施日：11月12日 場所：横浜市内 県士会ブース案：OTの広報をするだけでなく健康増進、予防的な部分で検討中 ストレスチェックなど簡単にパソコンで処理できるものなどの実施など。企画案はメールで意見をよせてほしい。</p> <p>1. 新人教育プログラム参加者 7月23日 人間関係論 86名 作業療法の対象領域 96名 7月24日 地域医療福祉 101名 倫理綱領 116名 症例検討 114名</p> <p>2. 生涯教育講座参加者 「医療福祉関連職種のためのコーチング技術」 153名 詳細は次回の理事会で報告。</p> <p>5. その他 生涯教育制度推進委員会準備班（奥原）</p> <p>別紙資料あり OT協会、各都道府県士会主催・共催以外の学会・研修会等。 会員の申請により県士会が判断する 現在は郵送で受けているが今後は講習会や学会で受け付けていきたい。</p> <p>鶴見：県士会としては、未納入者はどうするか？ 鈴木：他県との差が生じるのか？ 会長：会費を払って県士会員と認められる。 申請時に確認したらよい。 ：団体を認めていくことは大切。しかし県士会員であることも重要。未納入者にはポイントを与えなくても良いであろう。</p> <p>鈴木：協会と県士会とで認める基準が違ってても良いか？ 鶴見：県士会の基準でよいだろう。 各部の決算報告書を提出（年度末の混乱を避けるため） 10月下旬に会費未納者に督促状を発送予定。</p> <p>40周年記念式典の参加者を募集している。</p> <p>学術部 書面にて報告</p> <p>財務（長谷）</p> <p>都道府県連絡会（清水）</p>	<p>2005年7月28日～30日 パシフィコ横浜 来場者数 OTブース約150名</p> <p>3. パンフレット規定案 長谷：配布については予算を立てていないため、返信用封筒または着払い。 田中：OT協会は？ パンフレットは送料有料。 規定を再検討。配布先や一回の部数等。 当面、パンフレット自体は無料、送料は依頼先が負担</p> <p>4. 健康生活展 実行委員会：2005年7月6日 実施日：11月12日 場所：横浜市内 県士会ブース案：OTの広報をするだけでなく健康増進、予防的な部分で検討中 ストレスチェックなど簡単にパソコンで処理できるものなどの実施など。企画案はメールで意見をよせてほしい。</p> <p>1. 新人教育プログラム参加者 7月23日 人間関係論 86名 作業療法の対象領域 96名 7月24日 地域医療福祉 101名 倫理綱領 116名 症例検討 114名</p> <p>2. 生涯教育講座参加者 「医療福祉関連職種のためのコーチング技術」 153名 詳細は次回の理事会で報告。</p> <p>別紙資料あり OT協会、各都道府県士会主催・共催以外の学会・研修会等。 会員の申請により県士会が判断する 現在は郵送で受けているが今後は講習会や学会で受け付けていきたい。</p> <p>鶴見：県士会としては、未納入者はどうするか？ 鈴木：他県との差が生じるのか？ 会長：会費を払って県士会員と認められる。 申請時に確認したらよい。 ：団体を認めていくことは大切。しかし県士会員であることも重要。未納入者にはポイントを与えなくても良いであろう。</p> <p>鈴木：協会と県士会とで認める基準が違ってても良いか？ 鶴見：県士会の基準でよいだろう。 各部の決算報告書を提出（年度末の混乱を避けるため） 10月下旬に会費未納者に督促状を発送予定。</p> <p>40周年記念式典の参加者を募集している。</p>
---	---

	次回 三役会 11月8日 各部の資料は三役会までに事務局に提出。 理事会 11月15日 以上
--	---

報告者：野本義則 書記：鳥畑真理子  
文 責：錠内広之